



平成 19 年 3 月 16 日

各 位

上場会社名 日本精密株式会社
(JASDAQ コード番号 : 7771)
代表者名 代表取締役社長 宮田 治
問合わせ先 取締役 田崎 政己
TEL (048)225-5311

第三者割当による新株式発行の中止に関するお知らせ

当社は、本日開催の当社取締役会において、平成 19 年 3 月 13 日に発表しました第三者割当による新株式発行を中止することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 発行中止の理由

当社は、平成 19 年 3 月 13 日開催の取締役会で第三者割当による新株式発行(以下「本件増資」といいます)を決議し、同日付にて『第三者割当による新株式発行に関するお知らせ』ならびに『主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ』を開示しております。

しかしながら今般、当社と引受先の間で合意内容に錯誤があり、当社取締役会にて慎重に検討しました結果、錯誤内容を引受先の要求どおり受諾することは当社のステークホルダー全てに不利益となり、容認できないと判断し本件増資を中止する事を決議いたしました。

当社は開示の通り資金需要があり、積極的に企業価値向上に努力してまいり所存であります。よって既に別途『新株予約権の譲渡に関するお知らせ』を開示しているように、当社第 1 回有償新株予約権者と協議し、同新株予約権の行使をお願いいたしました。篠邊氏、篠田氏及びプラコム株式会社より、本新株予約権を行使し長期保有して当社の安定株主として当社を支援する韓国 K O S D A Q 市場に上場している会社へ譲渡することで協力したいとの申し出を受けました。

当社取締役会は慎重に協議を重ね、譲渡申し出のあった新株予約権 207 個が全数行使されると 631,350,000 円の資金が払い込まれますので、申し入れを受諾することと致しました。

中止した本件増資と比較して調達金額が減少いたしますが、当社の業績は「平成 19 年

3月期 中間決算短信(連結)、「平成19年3月期 第3四半期財務・業績の概況(連結)」でも明らかな通り回復基調は明白であり、金融機関との関係も回復しつつあります。よって資金調達手段は多様化しており、又業績の回復と共に未消化の同新株予約権の行使も期待できるものと考えておりますので、本件増資を中止いたしましても当社の資金繰りには影響ございません。

当社は昨年9月に自己株式処分の件でも不手際があり、今回の中止と合わせてエクイティに関して認識・対応が不十分であった事を深く反省しております。公開会社として企業の社会的責任を自覚し、今後の資金調達については、証券市場を混乱させることの無いように必要な金額をルールを遵守して計画的に調達するように努めます。

2. 中止する第三者割当による新株式発行の概要

(1) 発行新株式数	普通株式 3,000,000 株
(2) 発行価額	1株につき 金 305 円
(3) 発行価額の総額	915,000,000 円
(4) 資本組入額	1株につき 金 153 円
(5) 資本組入額の総額	459,000,000 円
(6) 申込期日	平成19年3月28日(水)
(7) 払込期日	平成19年3月28日(水)
(8) 新株券交付日	平成19年3月28日(水)
(9) 割当先および株式数	
ローリングトラスト投資事業組合	3,000,000 株

以 上